

# 浸水被害住宅の技術対策マニュアルに関する勉強会

令和6年2月16日(金)に奈良県大和高田市にある奈良県産業会館にて、「浸水被害住宅の技術対策マニュアルに関する勉強会」を開催しました。

講師には昨年に引き続き、(一社)和歌山県建築士会副会長・(公社)日本建築士会連合会 災害対策委員会委員であられる、中西重裕様をお迎えし、建築士及び行政としての浸水被害住宅の技術対策・対応について講義いただきました。また、募集定員一杯となる30名の参加者の方々と共に2時間、しっかりと勉強させていただきました。

## 【講義内容】

### ～第1章 はじめに～

1. マニュアルの考え方と利用方法
  2. 応急処置での基本的注意点
    - ・トリアージ 住宅の復旧が可能か不可能か見極める
    - ・応急復旧の「キモ」は、復旧後のカビ発生の防止
    - ・仮筋交いなどの構造補強
- 水害後の対応【応急処置の流れ(再建・リフォーム/解体へ)】【内装材等撤去と消毒】

### ～第2章 被災住宅の応急処置と応急復旧工事～

1. 水害後の復旧までの流れと注意点
2. 水害後の復旧までの作業の詳細
3. 復旧に当たっての注意点と推奨する施工方法
4. 応急修理から本格的な復旧に向けて

### ～第3章 被災住宅の相談窓口業務～

1. 相談内容の経過と分類
  - ・発災直後から時間の経過とともに相談内容は変化
2. 台風豪雨災害における相談活動の状況
3. 相談員の心得
  - (1) 心構えと配慮
  - (2) 相談窓口の体制
  - (3) 注意すること
4. 相談事例集
  - (4) 参考資料：被災者生活再建カード(永野 海 弁護士作成)
5. 相談票の書式例と参考資料

### ～第4章 被災住宅の応急復旧体制の提案～

1. 応急復旧体制の概要
2. 応急復旧協力会の役割
3. 応急復旧活動のフローと内容
4. 応急復旧協力会の参考資料
5. 応急復旧工事の概算費用
6. 復旧工事概算費用算出シート



## 【まとめ】

私は普段、施工主体で活動しているので、ある程度の復旧活動は理解をしているつもりでしたが、災害に関連した法律や行政とのやり取りに関する体制や登録事業者のリスト作成に関する提供づくりなど、まだまだ知らない点が沢山あり、細部にわたっての取り組みの必要性を痛感しました。

今回参加された皆様方も同様のお気持ちをもたれたのではないかと思います。

災害の少ない土地であるが故に、いにしえの時代に都が置かれ、災害の発生や被害に対する危機意識の低さが定着している奈良県ですが、南海・東南海地震について、かなりの高確率での発生が叫ばれております。この勉強会で培った知識や情報を活かし、今後、奈良県建築士会として官民一体となった“災害に対するネットワークづくり”に真剣に取り組んでいかなければならないと改めて考えさせられた勉強会となりました。

## 【結び】

今回講師を快諾してくださいました中西様、そして平日のお忙しい時間帯にも関わらず、参加してくださいました皆様に、この書面をお借りして、御礼を申し上げます。

【記：教育・事業委員会 坂本慎二】